

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター



ほっとすまいる ニュース

第13号 ◆ 平成21年4月1日



鹿教湯三才山リハビリテーションセンター長 就任にあたって

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター長兼鹿教湯病院長 前田 道宣

春の足音が次第に大きくなり、各地から桜の便りが聞かれる季節となりました。

さて、鹿教湯、三才山両病院が統合して平成17年4月より発足した鹿教湯三才山リハビリテーションセンターは今年で5年目を迎えます。この度小林俊夫前センター長の退任に伴い、私が鹿教湯病院長の職務でセンター長に就任することにいたしました。重責をひしひしと感じている次第です。小林前センター長には、両病院統合にむけて平成15年2月に発足した鹿教湯三才山プロジェクト委員会立ち上げの時から今日に到るまで、筆舌に尽くし難いご尽力をいただき、センターを軌道にのせていただきました。改めてこの場をかりて深甚なる謝意を表します。センター長就任にあたり、ここ

で改めてセンター発足時の背景とその基本的な考え方を再確認したいと思います。日本は世界でも例のない速さで少子高齢化社会に突入し、加えて経済の低迷による財源不足からかつてないほどの医療費抑制政策が続けられてきました。その結果がどのような惨憺たる状況になっているかは皆さんご承知の通りです。以前のような診療報酬の増大は期待できなくなり、両病院は時代に即した改革と再生に取り組まざるをえない状況にありました。具体的な問題点として、狭い西内地区に両病院あわせて800床近い病床を有し、競合関係が懸念されました。さらに日本各地にリハビリテーション機能をもつ医療施設が次々とつくり、患者確保が年とともに困難になってきましたし、個々の病院単

独では機能分化への対応も困難でした。このような背景のもとに両病院の機能を再編成し、しっかりと経営基盤を持つリハビリテーションを中心とする事業所を設け、組合員や地域のかたがたの負託に応え、雇用の安定化を図るためにセンター化がなされたわけです。現在センターには解決しなければならぬ問題は少なくありませんし、これから新たな問題も起きてくることでしょう。今の医療制度の不備や欠点を非難するだけでなく、リハビリテーション専門病院としての軸足をはずす事なく、職員共々努力してまいりたいと思います。何卒ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

私たちは、保健、医療、リハビリテーションおよび福祉活動を通じて、高齢者・障害者が自分らしく生き生きと輝いてくられるように、地域のみならずともに支援いたします。

私たちは、患者さんを中心とした「納得の医療」を行います。

病院 理念

鹿教湯病院 三才山病院



三才山病院長代行就任にあたって

三才山病院長代行 黒岩 靖

この4月より前藤井忠重院長の後任として、新しく三才山病院の院長代行を務めさせていただくことになりました。黒岩靖と申します。

この4月より前藤井忠重院長の後任として、新しく三才山病院の院長代行を務めさせていただくことになりました。黒岩靖と申します。

現在、三才山病院は鹿教

平成2年4月に当院へ就職して以来、20年の歳月が経ちました。この間一貫して医局的な立場から、診療業務だけでなく医局事務や他職種との隙間を埋める役割も担って来ましたが、三才山病院内の各職場の諸事情については誰よりも精通していると自負しています。しかし、元来の引込み思案かつ優柔不断なところと、細かいことを気にしないという悪くいえば大雑把な性格のため、リーダーとしての資質があ

るのかどうか大いに疑問に思っています。…というわけで「院長」でなく「院長代行」という肩書きを頂いたのだと理解しています。

大変な時期に、大役を仰せつかり大きな不安はありますが、進むべき道に迷いはありません。引き受けた方には全身全霊を注ぎ、職務を全うする覚悟です。初代院長の野溝孝平名誉院長、小林俊夫名誉センター長、藤井忠重名誉院長が脈々と築き上げてきた、三才山病院の文化である、患者さんを中心とした暖かく、そして質の良い医療が提供出来るよう、より一層努力まいりますので、地域および各関係機関の皆様におかれましては、今まで以上の暖かいご支援とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

湯三才山リハビリテーションセンター内の一病院として病棟機能の再構築などを行う大変革の途上にあります。三才山病院の職員が生き甲斐をもって働ける職場環境を守りつつ、病院としての生き残りを賭けて、レジストロフィー患者を中心とした療養介護病棟（Ⅱ指定療養介護事業所）の拡大と、介護療養病棟（Ⅱ療養型医療施設）の転換・縮小等を断行しながら、経営の健全化に取り組みなければなりません。このような

長い間ご苦勞様でした

平成20年度 定年退職者

- ・小林 俊夫 センター長 勤続10年10カ月
- ・藤井 忠重 三才山病院長 勤続6年
- ・小海 殊一 理療士・准看護師 勤続41年
- ・住吉 一郎 理療士・准看護師 勤続40年
- ・青木美佐子 訪問看護ステーション所長 勤続33年
- ・宮原 民子 看護助手 勤続20年6カ月
- ・滝沢 則夫 栄養科長 勤続19年5カ月
- ・藤井 忠雄 施設課長 勤続19年5カ月
- ・貝吹 敬司 診療放射線科技師長 勤続19年1カ月
- ・滝沢 和市 施設課 勤続18年
- ・掛川 啓子 栄養科助手 勤続15年6カ月
- ・源 正子 准看護師 勤続7年2カ月

21年度

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター体制

- センター長兼鹿教湯病院長……………前田 道宣
- 三才山病院長代行……………黒岩 靖
- 名誉センター長……………小林 俊夫
- 三才山病院名誉院長……………藤井 忠重

名称決定

介護療養型老人保健施設

「いずみの」

当りハビリテーションセンターでは、現在の鹿教湯病院分院（99床）をJA信州うえだ様の多大なるご支援により、JA信州うえだ西支所敷地内（上田市小泉）に介護療養型老人保健施設（120床）として移転新築する運びとなり、地域の皆さまに広く名称の募集をさせていただきました。皆さま方からたくさんのご応募をいただきありがとうございます。とうございました。

この度、『いずみの』と名称が決定いたしました。

選考するにあたり、利用される皆さま、そして地域の皆さまに親しまれ、選ばれる施設となる名称であることを基準とし、まず選考委員により多数の応募作品の中から1次選考・2次選考を投票形式で行い数点に絞り込みました。最終選考は2月19日、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター職場運営委員会およびJA信州うえだ様にも参加していただき、厳正なる審査の中で、2度の決戦投票を経て「いずみの」が選ばれました。

『いずみの』は建設地の地名「小泉」の「泉」と生命あふれる「泉」をかけたもの。「の」は長野の野、自然を表



完成予想イメージ図

いよいよ着工へ

介護療養型老人保健施設「いずみの」の起工式を3月7日、上田市小泉地区のJA信州うえだ西支所構内の建設予定地で行い、JA信州うえだを始め、上田市並びに近隣市町村長、地元県議会議員、上田市議会議員他病院運営委員の皆さま方、地元自治会長、施設近隣の皆さまなど多数のご来賓の参加をいただきました。

員ともども大変重要な柱となる。「いずみの」は、厳しい医療情勢の中で国の政策転換を受けて、厚生連の基本構想に基づいて建設の運びとなった。管内にも高齢者が多く大変重要な施設が出来ることになる。JAとしても微力ではあるが厚生連と手を取り合って福祉厚生事業に携わっていきたい」と話されました。

竣工は来年4月の予定です。

す野をかけたもの。総じて「豊かな長野の自然の中で、あふれるいのち」をあらわすものであります。

今後は、この「いずみの」が地域の皆さまに親しまれ、選ばれる施設となるよう運営してまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いたします。

安全祈願祭での神事に続き、鹿教湯病院前田院長による開式の辞、本会若林代表理事理事長の式辞、当りハビリテーションセンター小林センター長による挨拶の後、ご来賓を代表しJA信州うえだ芳坂代表理事組合長他の皆さまよりご祝辞を賜りました。祝辞の中で芳坂代表理事組合長は、「JAも福祉、医療が組合



芳坂栄一JA信州うえだ組合長の祝辞



地域の皆さまとふれあいながら
「健康・医療・福祉」について語り合おう

健康セミナーを開催しました

地域に開かれた身近な病院を
目指して、皆さまと健康・福
祉・医療について一緒に話し合
うとともに、ご意見やご要望を
伺う機会として毎年恒例となり
ました。当リハセンター労組主
催の上田地区健康セミナーを3
月7日、丸子文化会館小ホール
で、また三才山地区健康セミ
ナーを3月21日、松本市三才山
公民館で開催しました。



上田地区健康セミナー

つく医療クイズなどを行い楽し
いひと時を過ごしました。
三才山地区健康セミナーで
は、藤井忠重三才山病院長によ
る「認知症について」の講演や
健康体操に医療クイズ、さら
は職員による大喜利があり会場
は笑いに包まれました。
また、両セミナーとも希望者
には血圧測定や血管年齢測定、
体脂肪測定なども行い、多くの
地域の皆さまに参加をいただき
盛況のうちに終了しました。
今後は地元、西内・平井地区
での開催を予定しています。



三才山地区健康セミナー「大喜利」

お
し
ら
せ

● 鹿教湯病院 平成21年度呼吸教室開催

呼吸器疾患について学ぶ「呼吸教室」を開催いたします。
各回医師、薬剤師などの講話に加え、日頃のどんな疑問でも尋ね
られる時間を用意しています。
患者さん同士の交流の機会にもなりますので、都合のつく回だけ
でも、途中からでも結構です。どうぞふるってご参加ください。
対 象：呼吸器疾患を持つ患者とその家族（入院、外来）
当院受診以外の方も歓迎します。
その他関心のある方。

開催日：別表の通りです。

※ 第4回8月1日(土)のみ午前中開催の予定です

時 間：午後1時30分～2時30分

場 所：鹿教湯病院1階 「南会議室」

参 加：無料、予約不要です。当日会場においでください。

問い合わせ先 ☎0268-44-2111(代)呼吸教室担当/ 勝山、山本

〈全8回呼吸教室スケジュール〉

日程	講 師	テーマ
5月13日(水)	医師(センター長)	包括的呼吸リハビリテーション
6月9日(火)	薬剤師 管理栄養士	薬との上手なつきあい方 食事のお話
7月7日(火)	作業療法士 医療相談員	息切れの少ない生活動作の工夫 制度が使える福祉用具
8月1日(土)	肺の日にちなんだイベントを企画中(※前中の開催)	
9月1日(火)	理学療法士 看護師	運動量の調整について 具合が悪くなった時の対処
10月6日(火)	訪問看護師 訪問リハビリ職員	在宅サービスについて
11月10日(火)	心理士	呼吸器疾患と心理
12月8日(火)	院外講師	在宅酸素療法の実際

鹿教湯病院 ◆ 〒386-0396 長野県上田市鹿教湯温泉 1308 ☎ 0268-44-2111 FAX 0268-44-2117
三才山病院 ◆ 〒386-0393 長野県上田市鹿教湯温泉 1777 ☎ 0268-44-2321 FAX 0268-45-3709
豊殿診療所 ◆ 〒386-0004 長野県上田市殿城 250-4 ☎ 0268-29-1220 FAX 0268-29-1229